

# 令和3年度 企画管理部長「政策宣言」中間報告

企画管理部長 小塚 悟

## ○ 令和3年度重要事業

事業名	第3次射水市総合計画の策定
目標	D Xの推進等、ポストコロナ時代にふさわしい本市の将来像を掲げ、市民の皆さんとともに、これまで以上に満足度の高い新たなまちづくりを推進するため、第3次射水市総合計画の策定に着手します。
進捗状況	より多くの市民の声を計画に反映させるため、市長のタウンミーティングや市内各種団体等とのまちづくりミーティング、更には市民5千人を対象とした意識調査を実施しました。また、総合計画審議会を設置するため、委員の選考や公募委員の募集を行うなど、総合計画策定に向けた体制づくりに努めました。
今後の対応	市民意識調査の結果等を踏まえ、策定方針を示すなど、第1回総合計画審議会の年内開催に向けた準備を加速します。

事業名	社会環境の変化に対応できる人材の育成
目標	社会環境の変化とともに多様化する市民ニーズに対応できるよう、公民連携など幅広い視野を身に付けるための職員研修を実施するほか、新規職員採用においては、様々な行政課題に迅速に対応するための専門枠を設けるなど、即戦力の人材確保に努めます。
進捗状況	職員一人ひとりが、政策課題の解決に資する企画立案能力を身に付けるため、PPP（公民連携）研修をはじめ、人財養成塾などの研修や派遣を行いました。 また、新規職員採用においては、DXを推進するため新たに行政（デジタル枠）を設けて試験を実施しました。
今後の対応	引き続き、有益な各種研修を実施し、学びを業務に生かすとともに、人財養成塾においては、研究内容を幹部職員に直接提案する機会を設けます。

事業名	移住・定住支援事業の推進
目標	宅地取得支援及び若者や新婚世帯への家賃等補助、学生向けのUIターン補助のほか、移住者向けポータルサイトの充実を図るとともに、民間団体と連携し空き家の利活用を促進するなど、引き続き移住・定住対策を推進します。
進捗状況	地方移住への関心が高まっている状況等を踏まえ、移住希望者の登録が国内最大規模であるウェブサイトにて情報を掲載するとともに、移住コーディネーターとして9月から採用した地域おこし協力隊員による実体験を踏まえた移住情報の発信を行いました。 また、民間団体と連携した空き家相談会を毎月開催し、空き家

	の利活用を促進するなど、移住・定住施策の推進に努めました。
今後の対応	移住相談会やインターネットなどで移住情報を発信するとともに、定住の受け皿と空き家の活用促進のため、空き家情報バンクを活用するなど、移住・定住支援の充実に努めます。